

議 長	副議長	事務局長	次長	書記
				

文教福祉常任委員会視察報告書

令和5年11月13日

大口町議会 議長 江口 昌史 様

大口町議会 文教福祉常任委員会

委員長 佐名 かよ子



文教福祉常任委員会視察の結果（状況）は、別記（別紙）のとおりです。

記

1 実施日時 令和5年10月5日（木） 午後1時00分から3時まで

2 視察場所 豊橋市

3 視 察 者 文教福祉常任委員委員長 佐名かよ子

副委員長 飯田正志

同 委員 酒井一平

委員 社本與七

委員 仙田王一

委員 江口昌史

委員 大竹伸一

委員 齊木一三

ほか、町執行部職員2名（こども課長 石原健次、

こども課 主査 大塚剛司）

4 視察内容 ・ 幼児教育・無償化について

・ 豊橋市子育て応援企業の募集について

・ こども若者総合相談支援センター「ココエール」見学

5 特記事項

文教福祉常任委員会では、子育て支援について、豊橋市の子育て支援の先進的取り組みを学ばせていただきました。

幼児教育・無償化については、令和元年10月より第3子以降の保育料無償化の国の制度をベースに豊橋市は、0歳から2歳のお子さんについても、市独自で保育料等を軽減している取り組みについて内容の説明を受けました。

視察に参加した皆さんが特に注目した取り組みが、豊橋市では乳幼児家事支援事業（家事代行サービス）をスタートされたことでした。乳幼児期の家事負担を減らすため、民間の家事代行サービスをワンコイン1回500円で利用することができるクーポン券を6回配布。1歳未満のお子さんがある世帯であればどなたでも利用ができ、（転入などの方以外は）出生届を提出した時クーポンを受け取れる仕組みになっているため、今年6月の開始から、毎月利用者は増え続けているそうです。

利用するには、登録事業者に直接連絡をして申し込み、家事代行サービス対象を行う民間事業所が自宅を訪問し、洗濯や掃除、料理などの家事を行う仕組みになっています。サービスを利用した時にクーポンを添えて500円の支払いをするといった仕組みで、双子が生まれた場合は、クーポンは2人分、12回利用できるそうです。大変人気で申し込みが多く、現在2カ月待ちとのこと、今の4事業者から受け皿を増やす事が大事であるということから、サービス対象事業者の募集を行っています。

利用者が、使うことに少しためらう感じもあったそうですが、「子どもと2人きりの時間にはできなかった、お風呂やトイレ掃除をお願いできて助かった」等々の利用した方から多くの喜びの声が届いているそうです。

大口町でも乳幼児期の育児と家事の両立が一番大変な時期、子育て世帯にとって、このような家事代行サービスは助かると思います。取り組みを検討していただきたいと言った声が多く上がるよう、今後の政策提案に活かしていきたいと思います。

大変有意義な行政視察となりました。

以上です。